



毎月一回十五日發行（定價一部五錢一年郵稅共五十錢）

編輯長 須田圭二  
發行所 長野縣上田市  
印刷所 長野縣上田市  
電話 4413番

### 高粱の葉蔭より

滿洲湯川秀夫

○事變一週年  
昨に降つて北滿一帯を大海にした  
滿洲特有の七月の雨期も過ぎ八月に  
入るとカラリと晴れて暑の裡にも一  
脈の秋氣が漂うて来る。

碧空にボツカリ浮いた白雲、飛び  
かう赤蜻蛉、咲き亂れた桔梗の色、  
草葉にすだく虫の音皆快い初秋の情  
景である。  
そして早くも九月十八日の一週年  
が近づいて来た。昨秋以來の劍戟硝  
煙の一年間は一生の裡にも過ふ事の  
出来ない程の變轉極まる事件の連続  
であつた。然しそれは單なる事變で  
はない、破壊ではない、それはエン  
パイビルデングの大革命なのであ  
る。そして同時に日本の大亞細亞主  
義確立運動の序曲でもある。  
それは明治日本の結論であり昭和  
日本の序論である。  
兎に角骸子は投げられた。日本は  
ルビコンを渡らねばならぬ。

滿蒙の再建設こそ日本の是非共  
り遂げねばならぬ任務であり而も骨  
の折れる一大難事業である。  
凡ては是れからである。

#### ○滿蒙の再建設

事變后建設作業の遅々たるに失望  
して居る向もあるさうである。然し  
一國の建設事業がそうテキヤキ出来  
るものでないと言ふのが正しい視方  
であると思ふ。

事變后一年の間に形をなせしもの  
は何か？

第一は滿洲國の成立である。之は  
滿支蒙日韓等各在住民協和及び王  
道主義を建國精神として居り且つ事  
實上日本人が大に指導しつゝある處  
に多分の特異性を有してゐる。王道  
主義。一部の者には余りに微臭い思  
想であるかも知れない。しかし最も  
舊い思想は永久に新しい思想である  
これこそ眞に東洋傳統の思想であ  
る隨つて唯心的傾向を多分に持ち唯

山本三六郎著  
化學純絹絲の工業的完成  
工業的完成 ¥0.30  
伊太利蠶絲研究會編  
伊太利蠶絲絹業の現況退原因と其の改良  
現況退原因と其の改良 ¥1.50  
菅原勇治著  
蠶絲業法規要論 ¥2.30  
市田上縣野長  
會究研學科絲蠶 所行發  
(振替長野6413番)

物的な西洋思想と對蹠的であり特に  
王道主義は本來の農民自治主義の色  
彩を持つて居る事も亦之の農業地滿  
洲には相應しい精神である。  
日本人は是非共之の王道國家完成  
の爲に一肌腕がねばならぬ。  
滿洲國の内部工作は多數の日本人  
官吏によりて指導策されつゝある  
から段々整備されて来るであらう。

第二は日本側として所謂四頭政治  
の統一である。從來關東廳滿鐵、關  
東軍、領事館等の機關に確固たる聯  
絡なく大所より見る時は齟齬と重複  
多く日本の大陸發展を阻害した事が  
少くない。今度愈々滿洲特派全權の  
下に統一さるゝ事になつたのは慶ぶ  
べき事である。

今後は右全權の下に各方面の權威  
者を網羅し各般の指導に當る事にな  
つてゐる。農業方面では安藤廣太郎  
博士と橋本傳左衛門博士が内定して  
ゐる。

第三は滿洲の經濟的再建設である  
之には從來滿鐵が中心となつてゐた  
が今も矢張り滿鐵が中心機關とな  
らう。  
滿鐵には本春大なる經濟調査會  
が設立され各專門家を總動員して行  
政、法制、金融、通貨、關稅、交通

産業、教育等各方面に互り鋭意策  
立案中である。移民問題の如きも專  
ら右に於て割策しつゝある。隨つて  
凡ての建設事業の着手は早くして明春  
からであらう。  
先づ何れを見ても今の處境に輪廓  
が描かれたに過ぎない。

○國內の認識不足  
昨年來外國人の對滿認識不足と言  
ふ事から認識不足は一つの流行語に  
なつて来たが言ふ日本人にもそ  
のまゝ當て依る様である。  
内地の相當な有識階級でも滿洲國  
の成立を一種の滿洲國株式會社、滿  
洲支店設置位に考へて居るものがあ  
り又先般滿洲國官吏に留學卒業生  
（主として法學士）を選抜して来たが  
その連中すら進しく認識を欠いて居  
り百貨店や銀行に就職する代りに滿  
洲國に就職した様な所謂蒼白いイン  
テリの多く青年の熱と底力の欠けて  
ゐるに呆れて居た或る滿洲國有力者  
があつた（是は日本の現在の教育制  
度、方針の持つ欠陥かもしれぬ）又  
先日は内地から來て自動車運轉手を  
半殺にして自動車を手つた日本人が  
あつた。滿洲では是れ位な事をして  
も判らぬと考へて居たのださうだ。

喰えなければ馬賊になるとか何とか  
エライ元氣で渡來、蒼くなつて大連  
奉天邊の警察に泣き込む無分別の多  
き事。殊に滿洲の曠野に○○村を作  
り骨を埋めなどと水盆をして來て見  
てインテキ移民指導者に一杯喰はさ  
れて立往生の農村青年の群などは笑  
つて済まされぬ悲劇であり人道問題  
である、  
畢竟内地人は滿洲を三百年昔のメ

リカ位に考へて居るのではあるま  
いか滿洲は無人嶋ではないそこには  
確然たる土地所有權を持つた先住民  
族三千萬人が居る事を忘れてはなら  
ぬ。  
是が移民問題の面倒な所以であり  
それがため國家的大機關の設立統制  
が叫ばれて居る譯であつて調査と準  
備のない氣の早い移民など斷じて成  
功する筈がない。  
兎に角母國大衆は余りにも認識不  
足である。日本人は改めて滿洲を組  
織的に科學的に研究すべきであり當  
局者も之が指導機關を設くべきであ  
る。

#### ○匪賊跳梁時代

從來共滿洲の名物馬賊の頃は聞い  
て居たが幸か不幸か体験する機會が  
なく十年を過ぎたのであるが昨今は  
全く食傷する程匪賊出沒。是れで一  
人前に馬賊道信も書ける、資格が出  
來たと思ふ。  
鐵道妨害、滿鐵社員の拉致、掠奪  
殺傷等毎日の様に報せられてゐる。  
而も之等の匪賊は安東線と從來最も  
平穩なりし奉天以南の本線地方に襲  
來しつゝある。

之の匪賊は從來の草賊的なものと  
性質を異にする。即ち没落せる舊軍  
閥の殘黨、新政權に反對の徒、宗教  
的的反動團體、共產黨一派、農村恐慌  
によりルンペン化する農民等の集團  
であつて、その蔭には舊軍閥の力が  
働いてゐる。

南方の守備隊が北滿に出動中の手  
海を覗つての策動であるから仲々大  
膽で執拗である。  
試驗場で炸彈研究中の九大工學士  
が過日奉天驛頭で滿洲國人同志討の

流弾で怪我して来た、

そこで當地の温泉ホテル(二十町位の處)で命拾の御祝をした處が此の温泉がその翌日は十數名の軍警の警戒を突破して數十の匪賊に襲はれ客室は片端より蹂躪され遂に浴室の一人は撃たれて死んだ、丁度當場で炸薬研究中の一老博士も泊り合せて居られたが幸に博士の沈着と巧妙な機轉により危難を免れられた。

柞蠶試驗地のある萬家亭驛にも一夜匪賊が夜襲して来たが試験地駐在員M君その他の警備團員の應戦で撃退した、その後又試験地に這入り込んだ敵の密偵をM君が逮捕した。飼育林にも鐵條網を張り廻した、沿線中平和境でありし當地の如きも周圍に鐵條網を巡らし自警團が毎夜警戒してゐる。

こうした状態は恐らく九月下旬高粱の刈取りまでは續くであらう。(高粱が刈取られると隠れ場所がなく出沒困難である)

全く今の處は拂つて拂つても逐ひ切れぬ蒼蠶のそれであつて將に匪賊跳梁時代である。場員の若干はピストルを購入した時にはポケットに忍ばせた黒光の金屬の冷い觸感を味い乍ら實驗したりペンを執つたり全く物騒な情景である。然し萬事は馴れてしまつてこうした状態も馴れて來ると普通の生活になつて來る。偵察機の爆音や機關銃の響など却つて心に快いリズムを與える。

こうした事件も一度ニュースとして報ぜられると形容詞澤山でペラ棒に賑にはなるがそれは東京震災當時沼津以東全滅と同斷、他所目には危

険に見えても實際は案外平穩であり御本尊は平氣である(一部にはビクビク慌ててゐる連中もあれどそれはその人の精神的特異性によるものである)

相手が日本人よりも膽玉と智慧の少い匪賊であり且つ覗つてゐるのが財寶か人質であつて見れば金になる程のユライ首と車賃以上の大金を持つた事のない小市民の我々は安全なりと言ふ結論になる。

今夕も當地の南方一里位の處に匪賊百數十名現はれ滿洲人部落を掠奪中で日本の軍警も出動對峙中である然し街はいと靜で妻子等は穩に睡

### 夏の回想

#### 確氷茂

夏! 篋棒に暑い夏だつた。水屋が急がしやうに飛び廻つてゐた。デパートの米柱の側には、幾人かの人達が立ち留つてゐた。ガラガラ融けたアスファルトの舗道を歩くと鼻が燃えるやうだつた。コンクリートの道も同様だ。その上を殆んど毎日のやうに俺は歩かなくてはならなかつた。ダクダクの汗を手拭で拭ひながらこんな時には自動車でも飛び廻つたら、と時に思ふが、そんな金ナゾありやしない。いまなら圓タクがうんと下落してゐるから、勿論安く行かれる。だが、その圓タクを拾ふことすら不可能だ。

× 俺の帽子を見ていふものがある。この暑いさなかに冬帽じや暑くてや

つてゐる。佛教に善智識と言ふ言葉があるがこうした生活様相も又面白いもので確に善智識である。少くとも白粉や盃を伴ふた神經衰弱的な生活よりも愉快である。

兎に角昨秋以來の國としての人間としての有爲轉變治亂興亡の有様は興味深いものであつた。そして結局國家としても人間としても物事にビク付かぬ腹の力が何より大切だと言ふ事をしみしみ考へさせられた。(七、八、一九夜)

れ切れまい。三十錢で麥稈帽が買へるから、買つたらどうだと。それから俺はかう答へる。その三十錢が今の俺にはどう苦面しても出て來ないのだ、と。俺だつて同じ人間だ。暑い位のことばも承知だ。金さへ出來れば夏帽の一つ位は買つて、スマートな風彩もして見たい。

× 海と山とが誘惑する。殊に海や山へ出歩けぬ貧乏人にその誘惑が強い俺は省線の構内で、毎日の様に、海と山への誘惑のポスターを見てゐるさうするときままつたやうに汽車賃の割引が書き入れてある。だが然し俺は汽車賃のことは見ると。ポスターの誘惑は忽ち影をひそめて了ふ。俺にはビタ一文でも出す餘裕がないか

らだ。漸く秋になりかけてゐる。夏の誘惑からのがれてホットしてゐる。僕の家のすぐ後は茄子畑だ。六十幾つの爺さんが、毎日やつて來て茄子の手入れをしてゐる。今朝も早くやつて來て茄子を切つて行つた。爺さんの話では、何を作つても安く駄目ですが、茄子ならいくらにはなりません、といふ。それもその筈だこの間八百屋の持つて來たものを買つたら一錢に十個來た。東京でかくの通りだ。田舎だつたらどんなだらうと俺は思ふ。殆んど買手もあるま

× 六月の臨時議會では、農村問題がやかましく國をあげて農村救済に奔命してゐるかに見えた。だが議會が濟むと、だんだん農村救済にあきが來たやうだ。おそらくそんなことになりはしないかと思つてゐたが、その通りになつた。

× ところが八月に這入つて又臨時議會が開かれるといふので、また少し騒ぎ出してゐる。議會がすんだらどうなる?

× 自給自足經濟といふことがはやつてゐる。勿論それは、はやりもので何の現實性もありやしない。二年ほど前に産業の合理化といふことが、はやつたが、それと全く同じ程度のものだ。ただ違ふところは、合理化が、それをすれば、或は景氣でも立て直りはしないだらうかといふことを目標にしてゐたのを、自力更生は不景氣の云々に拘らず、他に頼らずに自力によつて生きなければ生きて

× 秋が來た。蟲が鳴いてゐる。玉蜀黍が風にゆれてゐる。月が澄んで來た。野菜が豊富に市場へ現れるやうになつて來た。

行かれぬ、といふことを目標にしてゐるに過ぎない。いはば自力更生は産業の合理化を一步深めたものに過ぎぬ。

× 目下の百姓は——所によつて違ふが——自力更生どころの騒ぎぢやないのだ。自力更生を常に心掛けて來たその結果が農村の現實なのだ。これ以上の自力更生を何處に求めたらいいのか。じやうだんも休み休みやつて貰ひ度いものだ。

× では誰れがそんなことを喧言出したのだ。それは兵庫縣農會が眞先騒ぎ出したといふことだ、同農會では自力更生の木製の農人形を拵へて、それへ「自力更生」と、ペタリ判を捺して、百姓に買はせたとか配つたとかいふことだ。おそらく兵庫縣は、自力更生でやつて行ける地方なのだらう。さうした經濟能力のあるところは誠に結構だ。

× ところが幸か不幸か、それが政府によつて採用された。農民救済政策に行き塞りを來してゐる政府にとつては、これ以上もつて來いの政策はない。齋藤首相始め、盛んに自力更生をとき廻つた。だが隔らぬものはかんじんの農民だ。躍らぬ彼等の定義に従へば、自力更生とは、借金の棒引、納税の免除のことをいふものなり。

× 生活に餘裕でもあつたら少し静かになつて考へて見たい、などといふブル根生が起きあがつて來る。(一九三二・八・二一於東京市外稻荷台)

# 浸湯酸人工孵化法の實用化に就て

(三)

愛知縣八名郡舟着村 柿田 國三 郎

紹介者 野 澤 泰 治

大正三年九月初旬私の誇りと云ふ意味に於て普通養蠶家を驚かしめんと思ひ無償配布を以て試験的に飼育せしめんと心掛け、時期は晩秋蠶期を利用して實行せんと考へ又一面には一大革新を知らしめんとして産卵時間を普通午後十一時迄行ひ來つたものを二時間早め、午後九時と改め浸漬用竹のヒゴ三枚挿の枠を作り又浸酸後の洗滌に微温湯(華氏百〇五度)と清水との二回洗滌を行ひ百數十枚を施行した其の方法は第十回目に行つた方法を以て鹽酸七對湯三と鹽酸七弱湯三強との二様式液温百十五度浸漬時間五分間に産卵後六時間八時間を經過したものを浸漬しその産卵を直ちに微温湯(百〇五度)に五分間次に清水に五分間乃至八分間浸して洗滌し蠶箔に産を敷き其の上に平置して乾燥につとめた又脱落した卵は篩にて集取して蔭干となし其の結果見をたるに其の成績頗る良好發蟻歩合も四日間 50100位のもの多く中に最優等に至りては 99100と先づ以て満點と云ふ大成績を擧げた而して此の中には二日間に 90100位のものもあり見事の成績をあげ得た此の時試験場の話を聞いて見たが私より試験回数も少なく未だ發蟻歩合の斯く迄のもの無く數日間互りて 90100程度のものであつた、而して此の時には取締所の高橋 松永兩吏員及同業者の

二三名も來りて同時に施行した。其結果が誠に意外の好成绩であつたので右諸氏の宣傳が各方面に響き夫れが原因となつて各公署吏員の多數が視察に來られた、又蠶蠶は養蠶家に配布したるに其の結果は又良好であつた、之れが飼育者には南設樂郡新城町入舟近藤秀次氏外數名、八名郡舟着村日吉中山米二郎氏及金澤實之助氏外十數名にて蟻の發育良好にして完全に營繭したるを以て冷蔵越年種の成績より一般に勝れりとして世間をして浸湯酸法の聲を高からしむるに至つた。又高橋吏員の紹介により同年十一月月上旬大日本蠶絲會愛知支會が尾張一宮町(現在の「一宮市」)に開催中の品評會に其の當時使用したる器具一切に掃蕩を添へて本方法の大体を記載して提出陳列した。之等の宣傳に依つて世間一般の注目する所となつた様に思ふ。

大正四年一月八日蠶種同業組合の總會に際して私から組合名を以て豊川試験場の小池先生(當時豊川原蠶種製造所技手)長野縣諏訪郡原村の人京都高蠶出身大正三年四月十日より大正五年三月廿一日迄在職)の臨席を申請し浸湯酸法の御講演を願ひ一般當業者に周知せしめた。同年三月中旬小池氏が浸湯酸法を發表し四月蠶業新報に掲載したる様記憶して居る、四月高橋、松永兩吏員の援

助を得て組合員と共に竹ヒゴ枠の一回使用にて腐蝕する爲め之れが改良に硝子管の枠五枚挿を作り、液温の保持の爲め風呂桶を利用する方法の改良研究をなし枠を組合共同にて製作注文をなし六月中旬より一化性越年種につき實驗しそれと共に一般當業者にも實驗着手させた、三月以後豊川試験場(原蠶種製造所)發表以來本縣は各所の同業者に實驗せしめ世間も追々之れに着手した様に思ふ、其の後に於ては熱湯、電氣等各種の方法現るに至つた。又四年六月以後に於て試験場發表の鹽酸分析表成分含有量報告等あり又稀釋法等種々の説明もあり、其の浸液の%なども標準が出来浸漬方法も大体整理されて來た然し乍ら試験場は主として浸湯酸法に私は浸湯酸法を主としてば作業上多少の方法に相違する點もあつたが目的は同一であつて私は濃鹽酸の含有成分量を知らなかつたが試験場の分析表に依つて見れば私が使用して成績を擧げた液は十五乃至二十%位のものであつたと思はれる

大正四年六月中旬一化性越年種を保温器として半風呂桶を作つて之れを使用したるに最も便利であつた、枠は五枚挿を用ひ方法は前年九月に施行したものに準じて行つた所が前年のものより總ての點に於て劣り發蟻歩合は 50100位なるも遅々數日に互りたるもの多く、故に二化性と一化性とに卵の大小並に卵殼の厚薄等の關係が多少ある様に考へられた、此の蠶蠶を養蠶家の希望に依つて少し許り收蟻飼育せしめて見たが發育良好に營繭した、其の繭を試験して見たが一化性である故か二化性のも

のよりも繭層は多くあつたが解舒が稍不良の様であつた、又八月中旬二化性につき前回施行した方法に基き實驗したるに前年九月の成績と略同一の好結果を得た、而も此の時の蠶兒を養蠶家に多數飼育せしめたるに發育良好にして冷蔵越年種より優つて好評を博した、九月上旬にも二化性越年種を前法に準じて三百枚程施行したるに成績良好發育經過實に満點と云ふても良い程の好結果で益々人工孵化蠶種の聲を高くするに至つた、五年度に於ては凡ての器具を新品に改め比車計等も備へ又蠶種に對しては養蠶家の希望も一層増加するに及んだので六月中旬前年の一化性越年種の成績不良なりし點に鑑み、少しく液温を高めて施行したるに前年より稍良好の成績を得た、又八月中旬からは養蠶家の希望も尙一層増加したるに依り寶飯郡牛久保町栗田氏の考案になる新式器具ホーロー焼の鐵製浸酸器と同じくホーロー燒鐵製連續二十枚挿の枠を以つて施行したるに發蟻甚だ不齊にして數日に互り初めに一期に一千余枚の蠶種を水泡に歸し廢物とする大失敗をした、引續き九月上旬にも多數の蠶種につき施行したが又々同一の方法に依つたが爲め同様の大失敗をした是等の二大失敗の原因は、先に施行したものの幸にも好結果ありし爲め非常なる好評を得多數の蠶種注文あり一攫千金の目前の利欲にかられ全く自分の研究の少きを深くも考慮せず唯一時に多數の蠶種を施行せん爲め作業上の能率をのみ増進したるが爲めに招きたる結果であると氣が附いた勿論一時に多數の蠶種を浸漬する場合には液温の直時下降に依る影響と最も熱の吸収力強き鐵製の枠を用

ひたるの結果液温が大變化を生ずるの原因を考慮する能力乏しかりしが爲めかゝる不始末と失敗を招いたのである。

而して其の後卵の脱落防止策として京都の荒木先生のフォルマリン使用法も應用して經濟實行するに至つた、四年度に於て豊川試験場が公表以來世間一般に問題となり各所に研究起り浸湯酸法の改良其の他の人に孵化法が各種發明せられたので其の後私は余り研究に従事しないが此の人工孵化法に關して小池先生の功績は大なるものがあると思ふ。

然るに世の中には色々の人があるもので、静岡縣濱名郡北庄内村宇白洲の住人桔川熊十氏の息茂十なるものが大正四年度春蠶期に豊川の試験場や私の宅迄も來られて種々視察し其の當時の浸湯酸法及び器具の實物を見學せられ大正四年九月廿八日附の申請書を以て其の方法に要する器具に付、父桔川熊十氏の名義を以て特許の申請をなして其の權利を收得し其の後數年間東三地方には其のまま放任され小池先生病死後大正九年末當地に來りて、一戸當り分權料金三百圓宛の要求を爲し納附せざるものには同方法の實行を不能ならしむ様強硬に申し來り既に其の料金を納むるものもあり又納めざるものも有り其の納めざるものに對しては權利侵害と云ふ訴訟も起り、爲め桔川氏對本縣蠶種家の問題となり、原告桔川、被告本縣蠶種製造家の訴訟裁判には被告代理人を當時東京に在住の栗田氏(前牛久保町生れ)證人には當時の豊川蠶業試驗場長竹村長義氏を以て辯論の結果被告收訴の判決となつた(被告私共收訴)(以下次號)

現生昆虫の種の數

小林 貫一

動物の分類上の單位は種(Species)と云ふ一つの概念で表はしてゐる。過去、現在に亘つて地球上に生棲せる動物に澤山の種の存在する事は何方も御存じの事と思ふ。而して其の動物の種が幾何の數に達してゐるかを知らぬのも亦甚だ興味ある事であらう。

Linne は一七五八年の Systema Naturae の第十版に當時知られてゐる凡ての動物四、三六種を記載し、此の中には我々に最も縁故の深い蠶 Bombyx mori Linne も書かれてゐる。爾來著しく其の數を増し Prabh は一、九二二年の Science 誌上に現存及び化石動物の種數は五二八、七〇〇種と發表し、其の内現生昆虫三六七、〇〇〇種、既知化石昆虫七、九〇〇種を擧げてゐる。處が一、九二八年イリノイ大學教授 Metcalf 及び Flint 兩氏は其の著 Destructive and Useful Insects に於て地球上の全動物記載種數は八四〇、〇〇〇種にして、其の内昆虫は六二五、〇〇〇種の多きに達してゐるといふ。今其の内譯をせば次の如くである。

- 衣魚目……………三〇〇種
- 彈尾目……………一、二〇〇種
- 直翅目……………一八、〇〇〇種
- 疊翅目……………九〇〇種
- 蜂蟻目……………八〇〇種
- 蜻蛉目……………五〇〇〇種
- 積翅目……………一、一〇〇〇種

- 白蟻目……………二、〇〇〇種
  - 啣蟲目……………七五〇種
  - 食毛目……………二、一〇〇種
  - 總翅目……………六〇〇種
  - 同翅目……………二五、〇〇〇種
  - 半翅目……………二〇、〇〇〇種
  - 蝨目……………一五〇種
  - 鞘翅目……………一五〇、〇〇〇種
  - 捻翅目……………一五〇種
  - 脈翅目……………二、五〇〇種
  - 蠍蟲目……………一五〇種
  - 毛翅目……………二、〇〇〇種
  - 鱗翅目……………一、二〇、〇〇〇種
  - 膜翅目……………八六、〇〇〇種
  - 微翅目……………四〇〇種
  - 雙翅目……………七五、〇〇〇種
  - 合計……………六二五、〇〇〇種
- 此の外原尾目(Pronota)絶翅目(N. Oraptera)及び燕尾目(Embioptera)等が近代の多くの昆虫學者に依つて承認されてゐるが、是等の種類は甚だ稀で且又數も少ないので上記の總數中には算入されてゐない。
- 今此の六二五、〇〇〇種の昆虫が何目に分類されてゐるかを一瞥する事にする。今日最も廣く行はれてゐる昆虫の代表的分類は次の六つである。
- Grampson 一、九二四年二八日式 (化石を含む時は三五日式)
  - Inms 一、九二五年二三日式
  - Bönnér 一、九二五年二二日式
  - Comstock 一、九二五年二二日式
  - Tillyard 一、九二六年二四日式

Handirsch (一九二五年)三三日式 (化石を含む時は四八日式) 最近 Max Wolf 及 A. Krausse (一九二九年)に依つて現在昆虫五〇日式(化石を含む時は七一日式)が發表されたが、一般の昆虫學者は非科學的分類とか狂暴的分類とか稱して一笑に附してゐる。完

山の湯の一夜

九大農化 中曾根長男

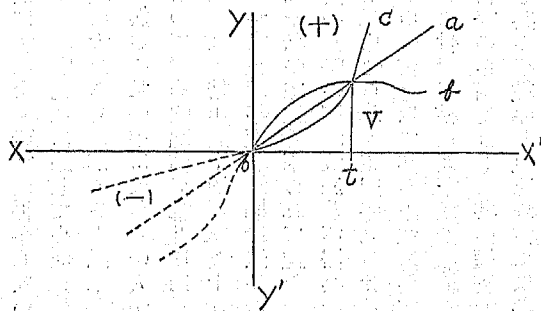
山は信州、湯は信濃叙情の初秋を慕ふ情人にはあらねど、郷を離れて草深き山路の景色芳香良し、色好し、氣良し人は好し自らに心期かなり、馬糞の芳強きを避けて岩角に憩へば、トンボの影に跳る岩魚の鮮に水は清く、彼方此方に驚き氣なる案山子の風情も笑止にて山の秋はとく訪れ、牛に乗り行く湯客の眺も又のどかなり。

此處は上州鹿澤の湯元、土民は呼びて山の湯と云ふ、昔は鹿の來り遊びたるにや一人湯に浸り疲れては妻も戀しく感じたらん嬌戀村と呼ぶ。靜かなる澤にも湯客はうるさく。霧深みたる中に谷川の瀬々らぎのみ高し、外燈のぼんやりと濡れて霧の港の夜にも見るメランコリー。火鉢を抱きて讀書も早や濕へ勝を折柄に訪れし緑衣の生物、性の神秘を稱えてすゝり泣く。夫人「家にゐた頃も良く室内に小蟲が飛込んで来て泣きましたの、とても可愛いものね！」

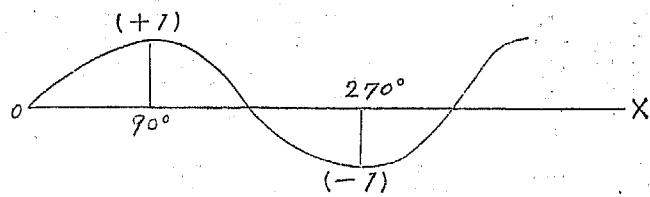
夫「さうかお前の所でも飛んで來るかね」夫人「え、良く來ましたわ！」(それは美し私には蟲でもなづきませぬ、……とまでは云はなかつたが)之れは昨年の今頃上田櫻木町の尾藤さんの愛慕訪問の折の甘き一夕。俺は今の夏も尾藤さんがゐてくれたらと思ふだに大兄は既に去りて水戸の梅林に英才を香らせる。今日此の頃の愛の巢はどんなだらう尾藤さん。

學士様になつて奥様と、就職として第二世を、矢次早に受けた尾藤さんの幸福感を聞きたいものだ。而もお坊ちゃんはその名も大きく吾等同窓を總べて置しき哉、千曲。「千曲なる言葉のはしも學舎の花なれ實なれ、姿ともなれ」

尾藤さんの幸福感をひそかに分析しながら昨年田中義鷹博士の幸不幸曲線なる談話會講演が知らず頭に浮かび出る、幸、不幸此の言葉を人生れて必ず口にし耳にする言葉であらう。誰れ人も不幸を求めてゐる人は無いだらう。それ故に幸不幸なる問題に對しては古くより東西の哲人學者に論議され定義を與えんとすらしめるものもある。が多くは詩人等の言葉を借りたもので科學的に考案せる人は余り無かつた今次に博士の説の大略を示すと。「幸福にも其の場合、人夫々に依りて種々あつて大我及び小我の幸福、又はアミーバの如き不死身の幸福と吾人の幸福の如き様々な對照も揚げる事が出来る。幸福は結果でなく、變化の途中である、其の變化の進行中に幸又は不幸感を感じるのであると、故に幸福を十一の變位の變化として見ると。無事でお目出度うと云ふと負の幸福である。病が無くてお目出度いのである故に幸福は如何にして示さるか云ふに、時間(+)、幸福感の量を(+)とする両者相關のものを(+)とすると兩者相關のものを(+)とと



「(+)」に正比例しないものである。例へば浦島太郎は龍宮から歸つて來たが余りにも時間が経過し過ぎて變位が多過ぎて幸福であるものが遂に不幸感を感じしめてしまつたのである。で今「(0)」の曲線を求めて見ると。即ち sin x にて表はし得る而すと



sinx = 1 の時は幸福は100%  
sinx = -1 の時は -100% となる  
幸不幸を曲線的に論議して見ると  
以上の様にて甚だ都合良く表はし得  
ると云ふのが田中博士の説である。  
而し乍ら吾人には尙一層の常態な  
り複雑性が含まれてゐる様な気がし  
てならぬ自己の立場より。又は第三  
者の立場より見るとは大いに偏差も  
出来ようし。又横傷的な問題もある  
而し博士の説は甚だ其の間の事柄を  
良く穿つた簡明な説の如く感じられ  
るが而し何人と云へども之れに全く  
合致するものと直答するものは殆  
どないだらう。物質的及精神的又は  
主觀的及客觀的幸不幸感等々博士も  
其後種々、研究中の事と案ぜられる  
が遺傳因子等の問題よりより困難な  
ものではないだらうか。  
アミープが不死身の幸福を有すと  
云ふも之は外觀的であつて化學的に

論ぜば多くの消耗を行つてみる事は  
明だ。人類も肉体的に見れば死の不  
幸觀を有して居るが今日尙不明の  
靈の連續を考へると殆どアミープと  
變り無く考へ及事事も出来はしない  
だらうか。又博士は幸福は結果でな  
く變化の途中にあると云ふ。而し之  
れとても甚だ考ふべき所がある例へ  
ば今學位を得んとして居る人が余は  
全く今幸福感に浸つて居ると云ふ場  
合を考へて見よう。

若し此の人が將來の成功を見越し  
又は日毎に進む研究なりが少なく  
がらも常に幾何かの結果が表はれて  
來て居る故に幸福を感じ得るので自  
分があつて進めてゐる研究なりが  
少しも進歩しない様な場合余は幸福  
なりと云ふ人は恐らくないだらう、  
事實全く無いに決つてゐる又不偶の  
人が道を歩き乍ら其の日の食にも飢  
えてゐる時に偶然黄金を拾つたとし  
て見る此の場合も道を歩いてゐた途  
中よりして既に幸福の感に浸つてゐ  
たらうか否彼れは其の手にして事實  
に於て結果に於て幸福になつたので  
あると私は思ふ故に變化の途中に  
於てでなく其の結果に倚る所の状態  
の函數として幸福、及不幸感は論ぜ  
られるものではなからうか恰も熱力  
學のエントロピーの如くに。  
初秋の夜も山の晨は明け安く、朝  
霧濕る彼方よりして牛の遠吠え、  
馬のいななき。馬子の嗚咽も遠くな  
りてウグヒスの聲のみさやかなり。  
天然瓦斯の出る山の湯。街に住むよ  
り暮らしも安く心境の變化は強く瓦  
斯の分析もして見た。 7.9.1

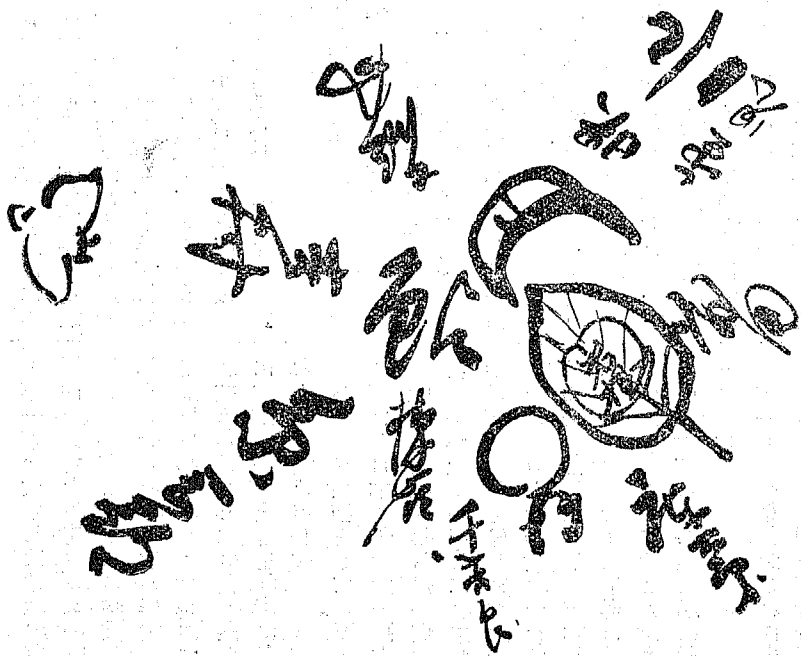
x x x x x

### 榛嶺先生と利根水上の一夕

岩 根 生

立秋七日目の八月十二日午後突然  
榛嶺先生來橋せらる支部幹事、織田  
岡部、吉村、金兒氏等幹事の電令に  
接し、前田兄宅に馳せ参する者九名  
先生の御健康を祝福すべく午後五時  
郊外約一里半の地點にある上州名物  
の一なる田口築に御招待した、時將  
に家の中に居ても汗がにじんで來る  
其の暑さを吹飛ばすには最も適當な  
場所なりしも出水後の爲め獲物の乏  
しかりしは残念の至りであつた、  
席が席だけに大公望の天狗話して  
最近極めて朗かなる、金兒兄の大氣

煩次で前田都丸兩兄の劣らぬ一席海  
岸育の吉村兄子供時代の追想談に興  
が湧き何れも鋭氣濃潤談笑に花を咲  
かせ斯くして鮎料理に舌鼓を打ちな  
がら次第に陶酔として歡興百パーセ  
ントに達したるの時千吉良君寄書  
を提案するや抜目のなき築の主人も  
上手な御口上で畫帳二冊を差出す先  
生ニツコリとして直ちに「筆華器情」  
と蘭を染筆して與へらる築主叩頭百  
拜互に同窓の情緒を満喫して躰はし  
く杖を別ちたるは八時過であつた。



### 京城から

百姓なんて草を食つてゐても結構  
生きてられるんだ。だから藪なんか  
口へでもよいじやないかなんていい  
かげんな御たくを平氣で誰れか云  
ひくさつた事を俺はまだ知つてゐる  
多分此の春だつた。あまりな言葉  
平氣で云ふもんだから未だ頭の中か  
ら消えないでそのまゝ残つてゐる。  
誰れか云はれる様に其の草さへも  
今では食ひ盡し他に残る何物もない  
あとは自分等の身體の何處か不要な  
肉でも食ふより外仕方がないのは朝  
鮮の百姓等の現状だ。全く云ふべき  
適當な言葉がない。

× × × × ×  
昨今絲價も大部直つて來た毎日鰻  
上りだ。今の状態では文句なしに三  
十掛の聲を久し振りに聞くによいら  
しい。百姓等の哀號の悲鳴も此  
の秋から消え四〇〇圓なんて未曾有  
の安値は昔物語になるらしい。御蔭  
で百姓も草も食はずおいしい御飯を  
食べられるらしい。沈滞しきつた朝  
鮮の蠶絲業も此の秋からさだめし活  
氣を呈する事だらう。せめて千圓位  
で落付てほしいもんだ。

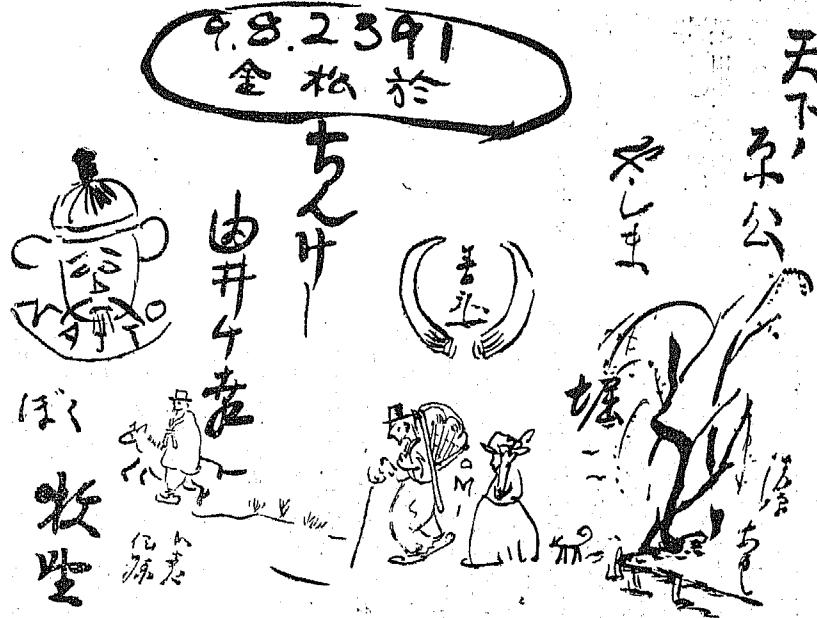
× × × × ×  
變な文句を使つて變な事を二三三  
行書いた。余は脱線せぬ間に本論に  
入る事とする。

× × × × ×  
京城で朝鮮教育會主催の講習會が  
一週間程開かれた。三名の同窓生諸  
氏を迎へたので何時もの集りをした  
初めて會場で逢ひ善は急げとやら其  
の晩の内にと云ふ事に相談が纏まり  
御蔭で筆者に會場準備係の大命降下  
す。



一、日時 昭和七年八月九日午後七時  
 一、場所 京城本町二丁目松金(前は最近東京大阪から美人女給を大量輸入し開館早々のカフェーは渦巻會館傍は蒸し暑い夏の夜にはもつてこいのペビーゴフル場)  
 一、集つた人々 小笠原安重氏(蠶二) 京城農業學校、尾見祐八氏(蠶五) 京畿道原蠶種製造所、堀久太郎氏(糸九) 京城農業學校、伊藤喜代氏(蠶十) 北青農業學

校、牧野春雄氏(糸十) 總督府農林局、津野衛氏(蠶十三) 大邱農業學校、矢島善良雄氏(蠶十二) 井島農業學校、内藤次郎氏(糸十) 京畿道廳農務課、山井千幸氏(糸十六) 水原農事試驗場蠶絲部、沈興變氏(蠶十七) 京畿道富川郡、藤原敏男氏(蠶十九) 京畿道蠶業取締所、朴金宅氏(蠶十九) 京畿道原蠶種製造所以上十二名  
 一、散會時刻 午後十時半(講習會場翌日水原の爲定刻より一時間半早く切上ぐ)  
 さつと以上の如し。(N生)



上田より一筆啓上仕り候

本年の暑氣は別つして酷敷きやう 哉伺上候、標高五百余米を有し夏季承はり候が各位如何に御消光被遊候 には特に高原列車をさへ通する吾が

上田に於ても當年の酷暑炎熱にはホトホト閉口仕り候、乍然昨年之水銀柱に比ぶれば平均も最高も共に幾分低き示度を表はし居り候も早天打ち續き降雨二旬にも亙りて皆無の爲か一般には近年稀有の高温と唱和被致居り候左に當地八月の温度を御高覽に可供候  
 (華氏) 四年 五年 六年 七年 (度)  
 平均 七二・七、七〇・六、二七・一  
 最高 八二・九、七九・五、九四・七  
 (セルシ) (五) (二七) (二〇)

御報告申上候

先號已報の獵奇ナンセンス「蛇の行衛」も約四十日の謎の後遂に大詰の場面を展開仕候本月十七日夜一時紺屋町石田氏(舊町長)附近の石垣に將に身を潜めんとせる利那通行中の一老婆に發見せられしが運の盡にて急報は忽ち附近に傳へられ待ちに待つたる青年團員等は捕物捕物をオツトツテはせ參じ辛くに撲殺凱歌を奏し申候長らく食物を攝らざるためか非常に衰弱致し居り候よしそれにしても始發地から終焉の地迄六七丁も距離あり此の間よく人目を忍び落ちのびたるもの哉と嘔物の本性に一驚を喫つし申候然し名うての毒蛇としては余りに不甲斐無き最後にて之こそ眞に龍頭蛇尾と申すべきものに候かせめて難か兎位を粗ひ多少は毒蛇の貫録を示すべかりしにと活參を疑ひ其の名を惜み申し候

蠶都上田市も蘭價の低落に遭ひて

死都の如く無氣味なる灰色の沈黙を續け居り候へしが近來米價の擡頭に生氣とみに魅り稍活氣を呈し始め申候不況對策に凄いスローガンを掲げ

て第一壁を放ちしは當地に有之候事實四百圓台を下走れる頃の陰慘なる農家は不安より寧ろ危険其のもの如く感ぜられ候米價の農家に反映する感度は頗るセンシブルにて生活思想共に旬日前とは隔世の感あり養蠶に伴ふ缺陷の全部を如實に教示せられし感を深め申し候

スポーツ使節としてオリムピック

に使ひし日本女子のため萬丈の氣焔を吐きし槍投四等入選の眞保正子女史は吾が上田市出身に有之候、眞田幸村傳統の名を恥しめず天晴武勳を海外に垂れし此の女騎士を迎ふるため市民は熱狂致し居り候本年は盛大に築城三百五十年祭を舉行致すよし其の前奏曲としてはこよなき引き出ものと申す可く松尾城頭に薫風欄引き居り候

本年七月に施行致され候生理衛生

文檢合格者中に同窓生菅野三郎君と今井武四君とを發見仕候文檢受験の困難なることは世に定評あり理學界等の科學雜誌に登載被致候オールド受驗ボーイの述懐をまのあたり見て熟々仇やおろそかならざることに同情仕り候かゝる難關を今井君は在學中に菅野君は動物と併せて二回とも無事に突破せし不撓不屈の努力に對し全幅の敬意を表し茲に御報告仕候

風水害の時期に入り各地同窓の御

被害も可有之と存じ候が特に御通知を得候分を御報告仕り候客月二十二日沖繩を襲ひし暴風は秒速三十二米と云ふすさまじきものに候へしが同地唯一の同窓中山吉二君の御報告によれば何等御被害なき模様有之候本月初旬秋田市浸水に際し奥田達雄君はスデのこと御被害ある所幸

にも其の直前御轉宅にて此災厄を免れ山下忠雄君は下宿二階のため御自分としては被害なかりしが下は浸水していさゝか肝を冷やせし御様子に有之候滿洲の浸水に對しては別に滿洲在住同窓の御近況を湯川支部長より本紙上に御寄稿相成る筈に付き御高覽被下度候

暑中休暇を利用し母校御訪問の各

位は随分澤山有之候其の中特に遠方にて痛快なる土産話をもたらし候方に伊佐農林學校櫻井吉利君有之候同校は獨特なる教育方針の元に堅實不拔の子弟を教養し日本的にも有名な名をなせしよし候一應ここに御紹介申上度存じ候へしが同君は寄稿下さることに決定致候間省略仕候何に致せ同校辯論部長たる名論家櫻井君特意の熱辯にて詳細なる御説明を得教育上非常なる参考と相成りしことを附言仕り候

母校諸先生の暑中近況申上候丁度

校外實習學生の指導監督出張の時期に相成り居り候ため夫々各地に出張被致御厄介に相成りしこと、存じ候其の以外は多くは御在田の様子に有之候校長先生は八月初旬以來某同窓の來田をまちわびていつこへも御旅行遊ばされず暑中を終られ候よし罪な會員もあるものと存じ候早川先生は一家揃つて舊鹿澤温泉へ、石倉先生も姑く谷濱海水浴場へ、浦牛先生も十日許り萬座温泉へ内田先生は東京へ井上先生も姑く東京へ御旅行のよし承はり候、原田先生佐藤(利)先生及び北澤先生は共に御令息女を御備け遊ばされ候よし御祝辭申上候それに引換えて須田先生は七才迄育

くみ給ひし御令息を失ひ給ひ御悲嘆

の程察し上げ候謹しみて御悔み申上げ候

本年度卒業生にして兵隊に合格なされた方にして母校に判明せし分を御報告申上候(倉澤生)

- 大石唯男 梅村義一 丸山力藏
- 中森謙二 若林 榮 木曾信雄
- 白川孝昌 相場實志男 竹内博雄
- 瀧澤幸司 加藤省三 宮下幸三
- 關三四郎 池内慎吾 (學生課證明書下附)

蠶絲學雜誌編輯後記

蠶絲學雜誌編輯が學術部へ轉籍してから最初の雑誌、第五卷第一號が黄色い表紙で生れました。黄色といふことに深い意味があるわけではありませんが、従来多くの雑誌の表紙が余り灰色のものが多から讀者が書棚から探し難からうと考へて、改めて見たわけです。

編輯内容は従來のものに比し、多少の變革は加へましたが先づ大同小異です、編輯は大體に於て安産の方でした。之れ偏に前の編輯者からの御教示と、御寄稿を惜まれなかつた皆様の多大なる御努力に因るものと深謝いたして居ります。

印刷、校正等には相當に力を盡した積りですが、何にしても仕事の傍といふので万全を期するわけには参りませんでした。又寄稿者と編輯者と、印刷屋と三拍子ピツタリとしないうゝのでせうか「自分ではこれで充分の積りでゐたが……」といふ様な箇所もポツ／＼ありました。本紙を通じて、著者及讀者の各位に御詫び申上げます。

寄稿者各位に對する優遇の出來ないのは元より貧乏世帯の千曲會の致す所止むを得ざる事として御許し下さい。然し雑誌そのものの價値は最早相當のものになつて参りました。既に國際的にも發展し、歐文の抄文は英、米、獨、佛、伊、露、西その他數ヶ國に向けて發送されて居り、又先方からも此種の雑誌が送られて來て居ります、此の一事實を以つてしても決して他の誌の追従を許さぬ物であると誇りを感じてゐる次第であります。

只、發行に先立つて頭を悩ますのは雑誌費の豫算の少いことです。現在發行部數一回約八〇〇になつて居りますが之は當然一、〇〇〇部以上にはしなければ常に雑誌は比較的高價なものとなつてしまひます。御購讀の方は何卒通常會費四圓の他金一圓也を御納め下さい。又今迄御購讀のない方も以後御利用下さることを切望いたします。

参考迄に第五卷第一號の内容目次を示せば次の通りです。

報文

- 一、桑樹の發芽に對する温度の影響に就て 池田正五郎
- 二、家蠶幼蟲の翅芽剝出に關する研究 野口 浩也 板倉 恭
- 三、蠶繭の螢光色に關する研究 一、螢光色相別に採種したる次代蠶繭種形質に就て 山崎 壽 谷口 岩藏
- 四、家蠶絲と野蠶絲との比較研究其一 繭層の溶解度並に生絲の伸度 井上 柳梧 北澤 孝一

五、生絲の物理的性質の研究(第一報) 生絲の密度及彈性率に就て 窪田 潤

六、生絲の物理的性質の研究(第二報) 生絲の線膨脹係數に就て 窪田 潤

調査 窪田 潤

一、フォルマリンガスの蠶兒飼育的效果 山口定次郎 金澤 勇

二、養蠶桑葉の致死點に就て 枇杷木瀧雄

資料抄録 以上一〇一頁 (山口記)

第四卷目録

住所移動及訂正

- 矢島 剛 二 矢島製絲株式會社 原料部(甲府市太田町)(訂)
- 吉川 誠彦 蠶三 古川(誤)(訂)
- 佐瀬 旭 蠶六 千葉縣匝瑛郡八日市場町
- 金 昌漢 蠶七 中南水利組合(慶尚南道蔚山郡)
- 勅使河原保 蠶八 東京府下淺川町宇落合一、九一五
- 水城 孝勇 蠶十一 南安南部農蠶學校(長野縣南安曇郡梓村)(訂)
- 野澤司馬作 蠶十三 野澤郵便局(長野縣野澤町)
- 中村 馨 蠶十六 長野縣西筑摩郡木祖村二七
- 兩宮 金雄 蠶十七 東京府蠶業取締所立川支所(立川町)(訂)
- 松田 敬三 絲一 龍上社(長野縣諏訪郡永明村茅野)
- 小林 茂樹 絲一 日東製絲株式會社(岐阜市辨天町)
- 藤井 料 絲五 奈良縣橿原市

(八木町)(訂) 淺井 春雄 絲八 静岡縣志太郡廣幡村八幡九七四ノ一

大谷 勇 糸九 長野縣更級郡更級村大字羽尾一、八六〇

湯澤 重敬 糸九 鐘紡株式會社岐阜製糸所(岐阜市本莊)

井原 邦雄 絲十 東京市麹町區紀尾井町三廻町會館

河西 又次 絲十 長野縣下諏訪町櫻町

牧野 春雄 絲十 朝鮮總督府農林局農務課(京城)(訂)

坂路 善一 絲十一 千葉商店(東京市本郷區菊坂町三七)

(自宅東京府下西栗鴨町宮仲二八七七) 左右田 武 絲十二 合資會社丸庄製絲所(埼玉縣本庄町)

中岡 固 絲十二 松山市祇園町三六橋本近助方

櫻井 卓三 絲十二 奈良縣橿原市(奈良縣八木町)(訂)

倉澤源太郎 絲十四 長野縣上伊那郡小野村下町

武藤 寛一 絲十五 丸興製絲株式會社(長野縣諏訪郡岡谷)

吉井 鼎 絲十六 那志製絲株式會社白杵工場(大分縣白杵町)

由井 千幸 絲十六 朝鮮總督府農務課(慶尚道蔚山郡)

和田 益己 絲十六 片倉岩城製絲所(福島縣平町)

安本武一郎 選絲十六 東京市外世田谷町世田谷五一〇豊田勝藏方

望月 太一 絲十七 武州製絲株式會社(埼玉縣北埼玉郡三俣村)

櫻井 隆夫 紡四 本校蠶絲化學教室

小林 尚一 紡八 北陸民報社(富山縣東礪波郡福野町)

大塚 富雄 紡十一 京都市左京區聖護院西町二一四馬杉清次郎方

笹本 保雄 蠶十五 山梨縣西山梨郡農會

弔慰金募集廣告

本會々員 神林正一氏(蠶十七) 豫而御病氣の處養生不相叶七月廿八日、遂に御逝去被致候間此段本紙上を以て及御通知候也

追而有志弔慰金は九月末日迄に取纏め遺族へ贈呈可致候間便宜上振替口座東京第四三三三番一筆へ神林氏弔慰金の旨御明記の上御拂込被下度候 昭和七年九月十五日 上田蠶絲專門學校 千曲會

特許千葉式煮繭機 特許I M式ストーカー 特許I M式コーンセンサー 製糸機械器具一般設計請負 高崎市赤坂町七六番地 坂路商店

編輯室より 前號に於て編輯室より申上げました通り千曲時報へ掲載回数最も多かつたのは池水茂君(廿回發行中廿五回)でありました。掲載題目の一番多いのも矢張り池水茂君でありました。特に茲に記して厚く感謝の意を表します。

尚同君からは八月號にも掲載すべく「夏だ」の原稿を寄せられました。が恰度長野へ原稿を送つてしまつた後で之れを受理した爲めに校正の時原稿の一部を變更して成るべく掲載しやうと思つて居つたのであります。が二月も三月も前から提出されて居る原稿もある關係上どうもうまくゆかず止むを得ず甚だ残念であつたが紙面の都合上本月廻しとして頂く事に致しました。編輯者の至らなかつた點は何卒御許し下さい。(k.s.)